

出演者



堀江 有希子 / サックス

兵庫県淡路市出身。大阪音楽大学音楽学部器楽学科を卒業。幼少よりエレクトーン、12歳よりサックスを始める。大阪音楽大学音楽学部器楽学科にてサックスにおけるクラシック音楽全般を学ぶ。卒業後はクラシック、FUNK、SOUL、R&B、POPSなど、様々なジャンルで活動し、美しく力強い音色と歌心あふれる演奏、ファンキーなプレイスタイルに定評がある。サンフランシスコへの2週間のライブツアー等にも招聘され、レコーディングにも参加。2013年はボルノグラフィティのサポートとしてTVに多数出演し、同年末にはNHK紅白歌合戦に出場。日本が誇るソウルシンガーの鈴木聖美のライブサポートアーティストとして、ブルーノートやビルボードライブなどに出演。2017年と2018年には、武道館で開催の「Act Against AIDS」にハウスバンドメンバーとして参加。自身がリーダーを務める活動を軸に、アーティストサポートや劇版レコーディング、テーマパーク音楽レコーディング、テレビ番組サポート、プライベートレッスンなども精力的に行っている。サックス3管ユニット「sax triplets」のメンバー。サックス専門誌「Sax World」では、デモ演奏付きで連載中。



江本 翔 / キーボード

千葉県出身。4歳からエレクトーンを始め、11歳の時にヤマハのエレクトーンデモンストレーターとして活動。金坂征広（のちの、音楽プロデューサー兼マルチプレイヤーの yuki monolog Kanesaka）と共にユニットを結成し、関東各地で公演を重ねる。青山学院大学入学後、Bill Evansの演奏に感銘を受け、ジャズピアノに転向。ジャズピアニストの福田重男氏と太田寛二氏の両氏に師事。Keissy Costa（ボーカル）や山根幸洋（ベース）と、ブラジリアンバンド「San-ninho ~サンニーニョ~」を結成しライブツアーを開催。平井景（ドラム・サウンドプロデューサー）のライブツアーに参加。ハケ岳南麓ボッサ・ナマリと共演。noon（ボーカル）の「Japanese Songbook ツアー」に参加。Playwright レーベル所属のユニット「freecube」のサポートを行い、「Family Vol.2 by Playwright」と「cordial」の2枚のアルバムに参加。海外アーティストのMark Taylor（ドラム）や Steve Whipple（ベース）などとも共演。作曲活動も行っており、自身のオリジナル曲で構成されたライブ「江本翔 Special Live」では、高円寺「JIROKICHI」を根城に活動し、また、鍵盤奏者・井高寛朗との双頭リーダーバンドである「江本翔 x 井高寛朗 "W" Keyboard Project」で活動している。



小倉 諭史 / ベース

東京都出身。高校卒業後よりプロとして、サポートやセッションなどの活動を開始。2007年～2010年まで、千葉県内の某有名テーマパークに出演。現在は、「STAR BELL PLUS」のリーダーとして活動する傍ら、オーガナイザーとして音楽イベントの企画・運営や、フリーランスのベーシストとしてライブやレコーディングなどのサポートを数多くこなしている。「PineappleDandy」、「Mermaid Bluebird」の各メンバー。



真船 駿 / ドラム

東京都出身。武蔵野音楽大学器楽科打楽器専攻を卒業。打楽器を久保昌一、ドラムを村石雅行の各氏に師事。13歳から打楽器を始める。現在は自身のバンド「Pedal Vox」でドラムを担当する他、レコーディングやアーティストサポート、テーマパーク内の演奏活動や個人や中高生の演奏団体に向けた指導を行なっている。ドラムに限らず、吹奏楽での打楽器やマーチングバンドの指導などジャンルを問わず精力的に活動している。

アクセス

電車とバスの場合

新京成線八柱駅南口 又は JR武蔵野線新八柱駅から、バスで3分(新京成バスで「八柱駅」から、小金原団地循環又は新松戸駅行きの「公園中央口」で下車)

※JR常磐線緩行線の馬橋駅近く「馬橋駅入口」(常盤平駅行き)又は同線新松戸駅前「新松戸駅」(八柱駅行き)からも、新京成バスがご利用いただけます。下車する最寄りの停留所については、松戸市のホームページ等でご確認ください。

電車と徒歩の場合

新京成線八柱駅南口 又は JR武蔵野線新八柱駅から、徒歩 15分

駐車場 あり(有料) 住所 松戸市千駄堀 269番地

